

# 令和2年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和3年4月15日

下関短期大学付属第二幼稚園

## 1 本園の教育目標

- ・ 明るくげんきな子ども
- ・ すすんで何でもしようとする子ども
- ・ ねばり強くがんばる子ども
- ・ すなおで思いやりのある子ども

## 2 本年度重点的に取り組む目標・計画

新幼稚園教育要領の主旨に則り、幼児の自発的な活動としての遊びを通して、創造性豊かで、物事に意欲的に取り組む子どもの育成を目指す。

チャレンジ目標：考える、決める、やってみる！

## 3 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	評価	取組状況
1	教育課程の見直しを行い、再編成する。	B	毎月1回の園内研修を開いたり、外部講師を招聘したり、共同作業を行ったりした。
2	職員研修を充実させる。	B	自主勉強会を開催したり、保育雑誌を定期購読したり、オンライン研修に参加したりした。
3	新型コロナウイルスの感染防止対策に努める。	A	マニュアルを作成し、全教職員で指導に当たるとともに、最新の感染状況の情報収集に努めた。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

## 4 総合的な評価結果

評価	理由
B	新型コロナ対策で新しい生活様式の導入や行事の見直し等に終始した一年間だったが、一方で、教育課程の再編成作業を行い、国が求めている幼児教育の方向性は周知できた。コロナの影響で研修出張は全くできなかった。

## 5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取組方法
1	教育・保育実践の理解・啓発	「新二幼プラン」（今年度再編成した教育課程）の具体的な取組を、写真、動画等を活用して可視化する。
2	教職員の資質向上	園内公開保育や事例発表を通して、OJTを推進するとともに、綱紀保持のための計画的な研修を実施する。
3	安全管理・安全教育の推進	保健主任に新型コロナ対策主任を命じ、感染症等の予防・対策のための組織的取組を推進する。

## 6 学校関係者評価委員の評価

園長は高い危機管理能力をもっていることが求められる。豊富な経験により培われた能力と推進力が、今年度の新型コロナにしっかり生かされている。職員は、日々の業務に追われて研修の時間の確保がむずかしいが、ちょっとした実践を紹介し合ったり、書籍や専門誌、情報誌などから目に留まったエピソードを回覧したりすることも有効。